

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年7月30日(2020.7.30)

【公開番号】特開2020-72803(P2020-72803A)

【公開日】令和2年5月14日(2020.5.14)

【年通号数】公開・登録公報2020-019

【出願番号】特願2019-173184(P2019-173184)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年6月8日(2020.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与する特典付与手段と、

遊技者による操作の対象である特定操作部と、

前記特定操作部に対する操作の受付けが許容される演出受付期間を発生可能な受付期間発生手段と、

前記演出受付期間内において前記特定操作部に対する操作の受付けがなされた場合、該受付けがなされたことに基づいて第1受付後演出を実行可能な第1受付演出実行手段と、

前記演出受付期間内において前記特定操作部に対する操作の受付けがなされた場合、該受付けがなされたことに基づいて前記第1受付後演出とは異なる第2受付後演出を実行可能な第2受付演出実行手段と

を備え、

前記第2受付演出実行手段は、前記第2受付後演出に対応する演出受付期間が発生したとき、該演出受付期間内において前記特定操作部に対する操作の受付けがなされなければ前記第2受付後演出を実行しないものであるが、前記第1受付演出実行手段は、前記第1受付後演出に対応する演出受付期間が発生したとき、いかなる演出設定下にある場合であっても、前記演出受付期間内において前記特定操作部に対する操作の受付けがなされたか否かにかかわらず前記第1受付後演出を必ず実行するものであり、

前記第2受付後演出に対応する演出受付期間、及び前記第1受付後演出に対応する演出受付期間は、1つの変動パターン内において別々に発生しうるものであり、

前記判定手段による判定の結果に応じた変動パターンとして特定の変動パターンが実行されており且つ該特定の変動パターン内における所定タイミングが到来したときには、前記第2受付後演出に対応する演出受付期間が発生せず前記第1受付後演出に対応する演出受付期間が発生可能とされるようになっており、

前記判定手段による判定の結果に応じた変動パターンとして前記特定の変動パターンが実行されており且つ該特定の変動パターン内における前記所定タイミングとは異なるタイミングが到来したときには、前記第1受付後演出に対応する演出受付期間が発生せず前記第2受付後演出に対応する演出受付期間が発生可能とされるようになっており、

さらに、

前記特定操作部は、少なくとも第1態様及び第2態様を含む複数態様のいずれかで発光可能であり、

遊技者に対して操作機会が付与されているときに前記特定操作部が前記第1態様で発光している場合は、前記特定操作部に対する操作の受付けがなされないときに該受付けがなされたときと同じ受付後演出を発生させる演出受付期間が必ず発生している状況下にあり、

遊技者に対して操作機会が付与されているときに前記特定操作部が前記第2態様で発光している場合は、前記特定操作部に対する操作の受付けがなされないときに該受付けがなされたときと同じ受付後演出を発生させる演出受付期間が発生している状況下にある場合と前記特定操作部に対する操作の受付けがなされないときに該受付けがなされたときと同じ受付後演出を発生させない演出受付期間が発生している状況下にある場合との両方がある

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

手段1：判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

遊技者による操作の対象である特定操作部と、

前記特定操作部に対する操作の受付けが許容される演出受付期間を発生可能な受付期間発生手段と、

前記演出受付期間内において前記特定操作部に対する操作の受付けがなされた場合、該受付けがなされたことに基づいて第1受付後演出を実行可能な第1受付演出実行手段と、

前記演出受付期間内において前記特定操作部に対する操作の受付けがなされた場合、該受付けがなされたことに基づいて前記第1受付後演出とは異なる第2受付後演出を実行可能な第2受付演出実行手段と

を備え、

前記第2受付演出実行手段は、前記第2受付後演出に対応する演出受付期間が発生したとき、該演出受付期間内において前記特定操作部に対する操作の受付けがなされなければ前記第2受付後演出を実行しないものであるが、前記第1受付演出実行手段は、前記第1受付後演出に対応する演出受付期間が発生したとき、いかなる演出設定下にある場合であっても、前記演出受付期間内において前記特定操作部に対する操作の受付けがなされたか否かにかかわらず前記第1受付後演出を必ず実行するものであり、

前記第2受付後演出に対応する演出受付期間、及び前記第1受付後演出に対応する演出受付期間は、1つの変動パターン内において別々に発生しうるものであり、

前記判定手段による判定の結果に応じた変動パターンとして特定の変動パターンが実行されており且つ該特定の変動パターン内における所定タイミングが到来したときには、前記第2受付後演出に対応する演出受付期間が発生せず前記第1受付後演出に対応する演出受付期間が発生可能とされるようになっており、

前記判定手段による判定の結果に応じた変動パターンとして前記特定の変動パターンが実行されており且つ該特定の変動パターン内における前記所定タイミングとは異なるタイミングが到来したときには、前記第1受付後演出に対応する演出受付期間が発生せず前記第2受付後演出に対応する演出受付期間が発生可能とされるようになっており、

さらに、

前記特定操作部は、少なくとも第1態様及び第2態様を含む複数態様のいずれかで発光

可能であり、

遊技者に対して操作機会が付与されているときに前記特定操作部が前記第1態様で発光している場合は、前記特定操作部に対する操作の受付けがなされないときに該受付けがなされたときと同じ受付後演出を発生させる演出受付期間が必ず発生している状況下にあり

、  
遊技者に対して操作機会が付与されているときに前記特定操作部が前記第2態様で発光している場合は、前記特定操作部に対する操作の受付けがなされないときに該受付けがなされたときと同じ受付後演出を発生させる演出受付期間が発生している状況下にある場合と前記特定操作部に対する操作の受付けがなされないときに該受付けがなされたときと同じ受付後演出を発生させない演出受付期間が発生している状況下にある場合との両方がある

ことを特徴とする遊技機。